

「開講式」「アマミクロウサギについて学ぼう！」

日時：令和元年5月18日（土）9：30～12：00

場所：龍郷町生涯学習センター「りゅうがく館」

講師：写真家 浜田 太さん

参加者：児童・生徒42人、保護者22人、計64人



山口大虎くん、内野歩さんが代表者発表してくれました。

浜田先生が珍しい映像をたくさん見せてくれました。



講師の話に興味津々です。真剣にメモを取っていました。



剥製を触って、毛の感触を確かめました。

令和元年度の子ども博物学士講座が始まりました！開講式の代表者発表では、まず龍郷小学校3年の内野歩さんが「アサギマダラのマーキング活動」というテーマで発表し、次に戸口小学校4年の山口大虎くんが「古代の奄美にタイムワープ」というテーマで発表してくれました。2人も発表内容が素晴らしく、聞く人が聞きやすいように、たくさん工夫してくれました。最終講座で発表する人のいい参考になったと思います。

第1回目の講座では、世界で初めてアマミクロウサギの子育ての撮影に成功した写真家の浜田太先生が、アマミクロウサギの子育ての映像だけでなく、親離れの瞬間や、ウサギ同士でケンカをしているところや、糞をするところや、えさを食べているところなど、普段見ることのできない貴重な映像を見せてくれました。また、アマミクロウサギが生きていくためには森や周りの生き物たちとの関わり合いがとても大切であることを学びました。

大勝小学校3年山下和太くんは「アマミクロウサギは自分のうんちを食べて生きている。」そして秋名小学校5年槻木心美さんは「クロウサギは2日に1回子どもにお乳をあげる。ウサギの中では鳴くウサギ。」ということがわかったそうです。

世界中で奄美と徳之島にしかないアマミクロウサギをどのようにすれば守っていけるのか。奄美世界自然遺産登録に向けて、みんなで考えることができました。